

樹脂製の袋（ビニルバッグ）の利用とその取扱いについて

平成 29 年 10 月 10 日
日本原子力研究開発機構

(1) 核燃料物質の貯蔵状況

樹脂製の袋を利用し、Pu を保管・貯蔵している施設は、燃料研究棟の他にも、核燃料サイクル工学研究所及び原子力科学研究所の施設がある。

核燃料サイクル工学研究所では、核燃料物質を容易に漏洩しない構造の容器（主として金属及びガラス。一部プラスチックのものもある。）に収納し、その外側を樹脂製の袋（二重）で梱包した状態で、扉付きの堅牢な貯蔵棚に貯蔵している。

また、原子力科学研究所では、核燃料物質を容易に漏洩しない構造の容器（主として金属及びガラス。一部プラスチックのものもある。）に収納し、その外側を樹脂製の袋（二重）に梱包し、それを金属製の外容器に収納した状態で、扉付きの堅牢な貯蔵棚に貯蔵している。燃料研究棟もこの方法に準じている。

燃料研究棟以外の各施設においては、定期的な点検により樹脂製の袋に膨らみ等の異常がないことを確認している。

(2) 樹脂製の袋の取扱い状況

前項の施設において貯蔵に付随して樹脂製の袋を取り扱う主な機会として、バッグイン及びバッグアウト、貯蔵中の点検、樹脂製の袋の交換がある。各施設においては、下表のとおり汚染拡大防止策を講じて樹脂製の袋を取り扱っている。樹脂製の袋の外側の点検は、燃料研究棟とそれ以外では異なっているものの、万一の汚染漏えいに対して養生等の準備をした上で作業している観点では、取扱いの考え方は基本的には同じである。

樹脂製の袋で Pu を保管・貯蔵している施設		樹脂製の袋の取扱い方法		
		バッグイン及びバッグアウト	貯蔵中の樹脂製の袋の外側の点検	樹脂製の袋の交換
大洗研究開発センター	燃料研究棟	作業場所の床を養生	フードで外容器を開け樹脂製の袋を取り出し目視点検	グローブボックス
原子力科学研究所	プルトニウム研究 1 棟	作業場所の床を養生*	貯蔵場所の床を養生し外容器を開け樹脂製の袋を取り出し目視点検	グローブボックス*
	バックエンド研究施設 (BECKY)	作業場所の床を養生	貯蔵場所の床を養生し外容器を開け樹脂製の袋を取り出し目視点検	グローブボックス
核燃料サイクル工学研究所	プルトニウム転換技術開発施設	作業場所の床及び作業台を養生	貯蔵場所の床を養生し樹脂製の袋を目視点検	グローブボックス
	プルトニウム燃料第一開発室	作業場所の床及び作業台を養生	貯蔵場所の床を養生し樹脂製の袋を目視点検	グローブボックス
	プルトニウム燃料第二開発室	作業場所の床及び作業台を養生	貯蔵場所の床を養生し樹脂製の袋を目視点検	グローブボックス
	プルトニウム燃料第三開発室	作業場所の床及び作業台を養生	貯蔵場所の床を養生し樹脂製の袋を目視点検	グローブボックス
	高レベル放射性物質研究施設 (CPF)	作業場所の床及び作業台を養生	貯蔵場所の作業台を養生し樹脂製の袋を目視点検	グローブボックス

* プルトニウム研究 1 棟については過去の取扱い方法を記載している。同施設は廃止対象施設であり、平成 28 年 1 月認可の保安規定において、使用場所における核燃料物質（プルトニウム）の最大使用量を 0 g としてグローブボックスでの使用を中止しており、それ以降グローブボックス内での取扱いは行っていない。

以上